

# うるま市 防災だより No.2

災害に強いまちづくり ～「訓練に2万人参加」「沖縄市との連携強化」～

## ◆地震・津波避難訓練を実施（11月5日）

市では11月5日に「うるま市地震・津波避難訓練」を実施しました。

この訓練は、市民の地震・津波に対する意識の啓発を目的に、市内全域で最大級の津波を想定したもので、地震への対応訓練と低地帯地域での津波避難訓練を行いました。

保育園や幼稚園の園児、小中学校の児童生徒をはじめ、自治会、事業所など約2万人の市民が参加しました。

大津波を知らせるサイレン音が響きわたる中、低地帯にある保育園、幼稚園の園児、小中学校の児童生徒たちは、足早に高台にある避難場所や建物まで避難しました。



## ◆沖縄市と相互応援に関する協定を締結（11月11日）

市では11月11日、沖縄市との「災害時における相互応援に関する協定書調印式」を行いました。



災害に備え、近隣市である沖縄市との連携を強化するもので、協定の主な内容は、①食料、飲料水などの提供、②被災者の救出、③応急対策等に必要な車両等の提供、④応急対策等に必要な職員の派遣、⑤被災者等を一時収容する施設の提供、⑥その他応急・復旧対策、となっております。本協定に基づく応援が円滑に行われるよう、お互いに日頃から情報交換を行い、防災訓練等を通して連携を強化していくこととしています。

～津波てんでんこ（東北地方の防災標語）：自分の命は自分の責任で守れ！～